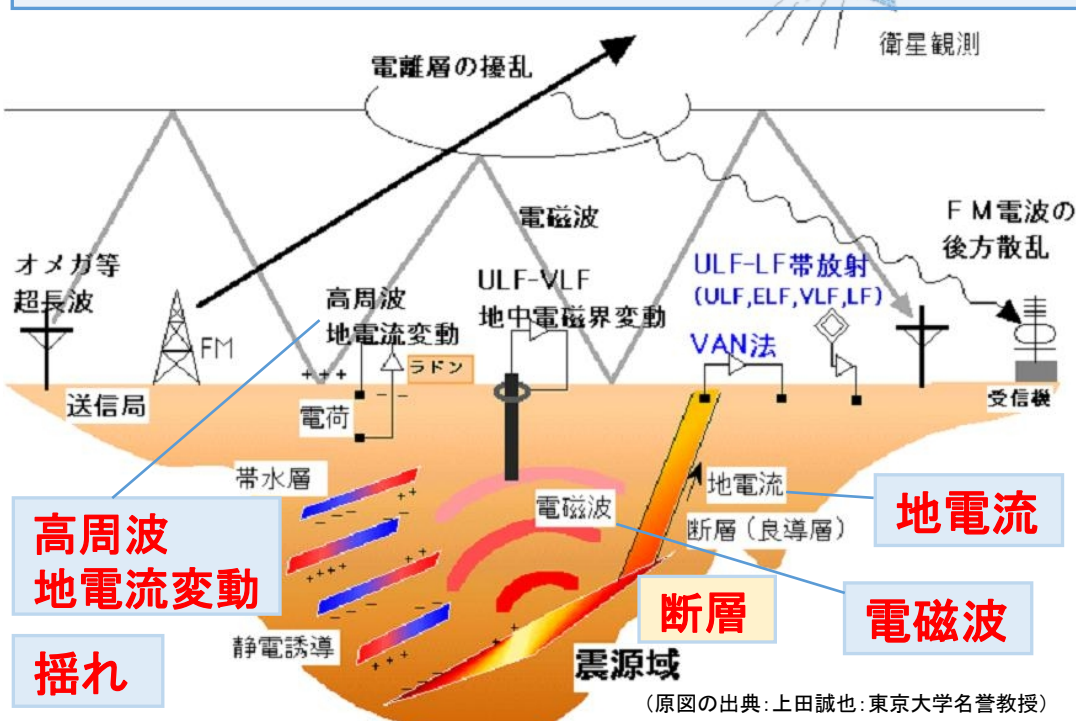


# パワースポットは地下からのエネルギー放出の場所



高周波  
地電流変動

揺れ

低周波音  
(10Hz以下)

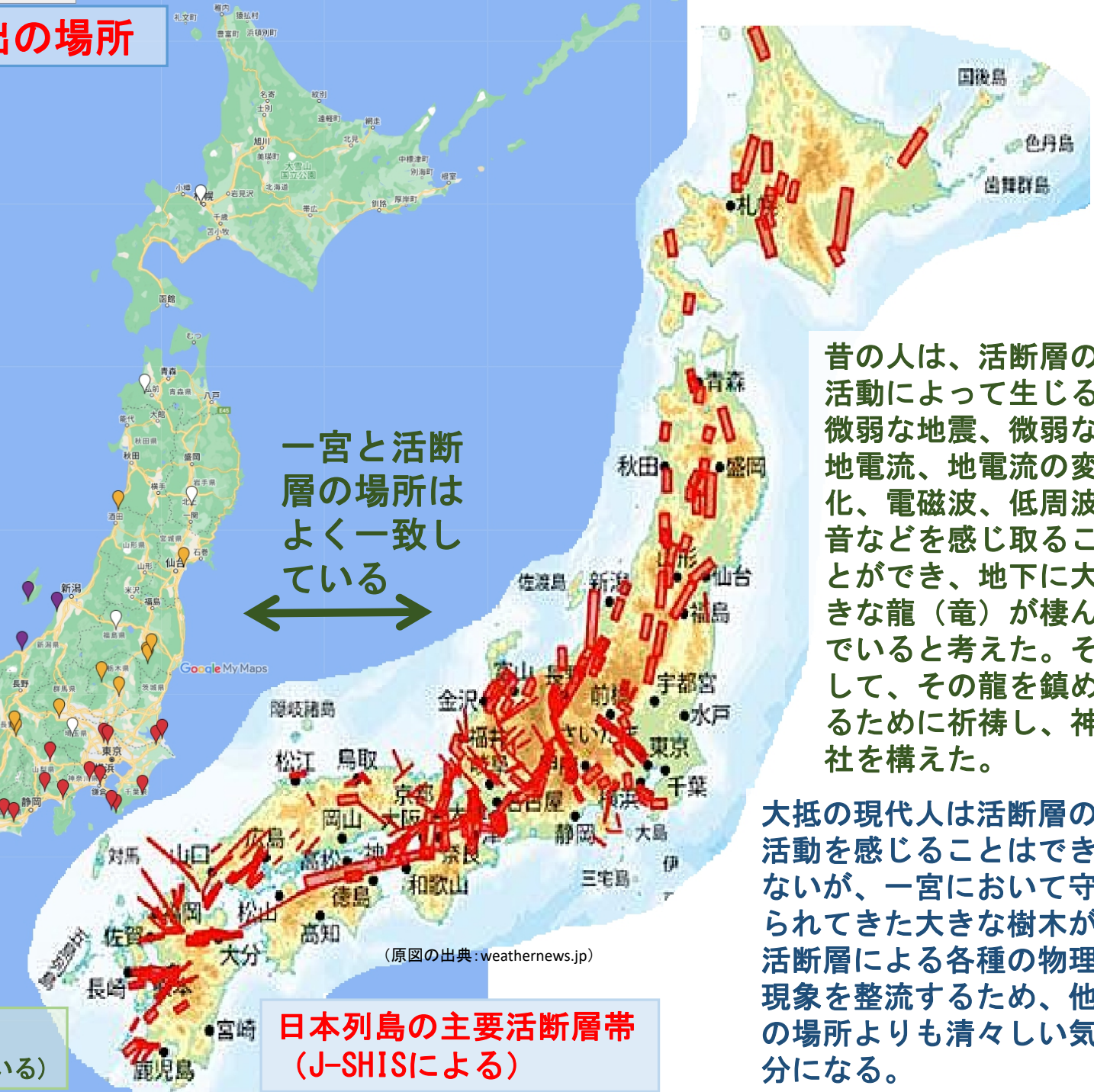
「パワースポット」は、大きな神社（一宮(いちのみや)）であることが多い。そして、一宮は活断層の上に建てられていることが多い。

(原図の出典: 上田誠也: 東京大学名誉教授)



日本の一宮の所在地  
(色は地域別に塗り分けられている)

<作成: stnv基礎医学研究室>



一宮と活断層の場所はよく一致している



日本列島の主要活断層帯  
(J-SHISによる)

昔の人は、活断層の活動によって生じる微弱な地震、微弱な地電流、地電流の変化、電磁波、低周波音などを感じ取ることができ、地下に大きな龍(竜)が棲んでいると考えた。そして、その龍を鎮めるために祈禱し、神社を構えた。

大抵の現代人は活断層の活動を感じることはできないが、一宮において守られてきた大きな樹木が活断層による各種の物理現象を整流するため、他の場所よりも清々しい気分になる。